

各事業の進捗評価

資料 10-2

第五次和光市総合振興計画基本構想に掲げられた施策を構成する事務事業について、毎年以下のとおり評価をしています。

基本施策 1 高齢者のいきがいと社会参加への支援	
高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域で健康にいきいき暮らせるようにします。	
取組内容	(1) 地域社会活動への参加に対する支援
	(2) 高齢者の知識・経験の活用
	(3) 民間事業者との連携

6-1-1 長寿・敬老支援

6-1-2 生きがい活動

6-1-3 新倉高齢者福祉センター管理運営

6-1-4 高齢者福祉センター管理運営

基本施策 2 きめ細やかな介護予防の推進	
多くの高齢者が介護を必要とせず、できるだけ自立した日常生活を送れるようにします。	
取組内容	(1) 介護予防の推進
	(2) 研究機関との連携
	(3) コミュニティケア会議の推進
	(4) 日常生活圏域ニーズ調査の実施
	(5) 地域に根ざした介護予防事業の創設

6-2-2 介護認定審査業務

6-2-3 認定調査業務

6-2-4 介護保険趣旨普及業務

6-2-5 介護予防・生活支援サービス事業

6-2-6 一般介護予防事業

6-2-7 委託センター運営

6-2-8 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

6-2-9 認知症初期集中支援事業

6-2-10 地域ケア会議事業

6-2-11 生活支援体制整備事業

6-2-12 健康度調査

6-2-13 健康増進・介護者リフレッシュ

6-2-14 地域介護予防

6-2-15 介護予防強化サービス事業

基本施策 3 高齢者の暮らしを支える仕組みの充実

高齢者が不見慣れた地域で安心して暮らせるようにします。

取組内容	(1) 在宅介護における支援
	(2) 医療機関との連携
	(3) 認知症施策の充実
	(4) 高齢者の住まいの確保
	(5) 介護人材確保や介護者への支援
	追加 (6) 低所得者への支援

6-3-1 在宅高齢者住宅支援

6-3-2 介護人材育成

6-3-3 介護保険指定事業者等管理システム

6-3-4 在宅介護支援

6-3-5 在宅生活支援

6-3-6 地域密着型サービス拠点等整備

6-3-7 老人ホーム入所措置

6-3-8 福祉の里管理運営

6-3-9 介護保険運営協議会運営

6-3-10 紙おむつ等支給

6-3-11 地域送迎

6-3-12 食の自立・栄養改善

6-3-13 社会福祉法人等による利用負担額軽減制度事業費

6-3-14 総合相談支援事業・権利擁護事業

6-3-15 日常生活圏域ネットワーク

6-3-16 在宅医療・介護連携推進事業

事業名		長寿・敬老支援			事業コード	1088001	計画コード	6-1-1
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉総務費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	長寿支援担当	
施策		6-1	高齢者の生きがいと社会参加への支援					

1. 事業の概要

事業の対象	新百歳・市内男女最高齢者
意図・目的	長寿と健康を祝い、長年の社会貢献について敬意を表し、市民へ敬老思想を普及する。
活動概要	100歳長寿慶祝・市内男女最高齢者慶祝する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 100歳長寿者、市内男女最高齢者	人	6	8	14	20	16	14	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		千円	388	383	425		488	不用額
	決算額		千円	145	320	297		128	
	財源内訳	一般財源		千円	145	320		297	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	69.9%
成果の説明	<p>100歳長寿慶祝については、新型コロナウイルス感染防止を考慮し、市長の慶祝訪問を中止した。代替として市職員による慶祝訪問(ご自宅訪問9件、市内施設訪問4件、市外居住者郵送対応1件)を行った。</p> <p>市内男女最高齢者について、市職員による慶祝訪問(ご自宅訪問1件、市内施設訪問1件)を行った。</p>								

3. 事業の課題

課題	75歳以上の後期高齢者が、前期高齢者数を上回った状況を踏まえると、今後ますます対象者の増加が見込まれる。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	当該事業を生きがいの一つとして日々の生活を過ごしている高齢者もいるものと思われることから、事業を継続しつつ一般財源を活用した事業であることも踏まえて今後の推移を見守っていく必要がある。

事業名		生きがい活動			事業コード	1091001	計画コード	6-1-2	
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉総務費	
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名			長寿支援担当
施策		6-1	高齢者の生きがいと社会参加への支援						

1. 事業の概要

事業の対象	老人クラブ及び会員、シルバー人材センター
意図・目的	高齢者の生きがい及び地域の活性化のため。
活動概要	老人クラブへの補助金、実施事業への支援と朝霞地区シルバー人材センターへの支援を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① シルバー人材センター会員数	人	371	372	360	440	587	587	
	② 老人クラブ会員数	人	856	770	745	1,000	1,000	1,000	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	6,689	6,626	6,521	6,517	不用額
			決算額	千円	6,539	6,436	6,391		130
	財源内訳	一般財源		千円	6,266	6,200	6,138		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	273	236	253		98.0%
成果の説明	(計画内容と成果) 高齢者が地域社会との関わりを通じて、仲間づくりや健康づくり、社会奉仕等の多様なニーズを満たせるよう老人クラブの支援、育成を図る。また、シルバー人材センターを通じた就労支援を援助する。								
	(1)老人クラブ及び連合会の助成 令和5.3.31現在								
	クラブ数			連合会数			会員数		
	14			1			745		
	(2)(社)朝霞地区シルバー人材センターの状況								
	運営費負担の状況 5,181千円								
	令和4年度和光市分事業実績 令和5.3.31現在								
	会員数		男	女	計				
	274		86	360					
	就業人員		184	52	236				
就業率		67.15%	60.46%	65.56%					
事業別		受託件数		契約金額					
公共		609		配分金		124,760,389			
民間		870		事務費		9,883,408			
個人		460		その他		2,402,377			
合計		1,939		合計		137,046,174			

3. 事業の課題

課題	老人クラブについて、会員の高齢化に伴う会員の減少等が課題となっているため、既存クラブの会員増強運動、クラブの新規立ち上げ等に係る協力を行っている。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続	<input type="checkbox"/> 改善して継続	<input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	老人クラブの補助金の交付方法については、老人クラブと協議のうえ検討する。		

事業名		新倉高齢者福祉センター管理運営			事業コード	110001	計画コード	6-1-3
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	05	新倉高齢者福祉センター費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名		長寿支援担当
施策		6-1	高齢者の生きがいと社会参加への支援					

1. 事業の概要

事業の対象	市内に住所を有する60歳以上の人
意図・目的	高齢者の健康増進及び社会参加の促進。
活動概要	高齢者福祉事業、介護予防小規模多機能型居宅介護事業を実施する。施設の運営は指定管理者制度により、民間事業者が行う。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
①	センター利用者数	人	4,714	8,819	11,923	20,000	20,000	20,000		
②										
③										
④										
⑤										
費用	予算額		千円	38,925	40,001	52,093		49,897	不用額	
	決算額		千円	34,648	36,268	50,523		1,570		
	財源内訳	一般財源		千円	34,648	36,268		50,523		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0		97.0%

長寿あんしんランドデザイン北エリアにおける介護予防の拠点として、身体機能・生活機能の維持改善やニーズに応じた各種講座やサークル活動を実施し、閉じこもり予防等による地域活動者の拡充、小規模多機能型居宅介護、介護予防に日常生活支援総合事業の運営により、地域高齢者の介護予防推進を図っている。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により講座等の開催に大きな影響があった。

(1)利用者数

利用者数	男	女	合計	(開館日数 293日)
	4,881名	7,042名	11,923名	
1日平均	16.7名	24.0名	40.7名	

(2)センター登録者数(令和5年3月末) 1,692名 (男性 643名、女性 1,049名)

(3)サークル活動登録団体 35団体 会員数 231名

(4)講座等

	介護予防講座	教養部門講座	認知症予防講座	センター祭り	その他	合計
開催回数	10回	28回	10回	1回	29回	78回
参加者数	48名	230名	98名	104名	655名	1135名

(5)介護予防小規模多機能型居宅介護事業

定員	年間訪問回数
20名	932回

(6)介護予防・日常生活支援総合事業(通所型サービスC)

定員	平均登録者
8名	6.8名

3. 事業の課題

課題	施設が老朽化しているため、今後、維持管理費用の増加が見込まれる。新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少している。今後、どのように利用者数を回復させていくかが課題となる。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	長寿あんしんランドデザイン北エリアの介護拠点であると同時に、地域における交流拠点としての機能を有しており、今後も適切な維持管理を実施する。 コロナウイルス等の感染症については、感染防止対策に努めた運営を行っていく。

事業名	高齢者福祉センター管理運営			事業コード	1101007	計画コード	6-1-4	
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	06	総合福祉会館費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	長寿支援担当		
施策	6-1	高齢者の生きがいと社会参加への支援						

1. 事業の概要

事業の対象	市内に住所を有する60歳以上の人
意図・目的	高齢者の健康増進及び社会参加の促進。
活動概要	介護予防を基本とした各種講座(教養専門講座、パソコン講座、介護予防運動、レクリエーション等)の開催、サークル活動の場の提供とコーディネートを実施する。また、介護保険法に基づく通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業の運営により、地域高齢者の介護予防の促進、自立支援を図る。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
①	センター利用者数	人	1,959	6,891	16,736	30,000	30,000	30,000		
②										
③										
④										
⑤										
費用	事業費		予算額	千円	54,954	55,821	56,422	57,073	不用額	
			決算額	千円	52,202	54,334	54,555		1,867	
	財源内訳	一般財源		千円	52,202	54,334	54,555		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		96.7%	
成果の説明	長寿あんしんグランドデザイン南エリアにおける介護予防の拠点として、身体機能・生活機能の維持改善やニーズに応じた各種講座やサークル活動を実施し、閉じこもり予防等による地域活動者の拡充を図る。また、介護保険法に基づく介護予防通所介護施設の運営により、地域高齢者の介護予防推進を図る。令和4年度は新型コロナウイルスの影響が薄まり、徐々に利用者が回復傾向にある。									
	(1)利用者数									
			利用者数	男	女	合計	(開館日数 293日)			
				6,746	9,990	16,736				
			1日平均	23名	34名	57.1名				
	(2)センター登録者数(令和5年3月末) 4,137名 (男性 1,691名、女性 2,446名)									
	(3)サークル活動登録団体 16団体 会員数 218名									
	(4)講座等									
			教養の向上とレクリエーション	健康増進及び自立促進	地域活動支援	その他、納涼祭など	合計			
			開催回数	212回	642回	0回	1回	855		
		参加者数	1,439名	3,896名	0名	18名	5353			
(5)通所介護事業 コロナのため中止										
		定員	年間実施回数	年間利用延人数						
		20名	215回	311名						
(6)介護予防・日常生活支援総合事業(通所介護サービスA)										
		定員	年間実施回数	年間利用延人数						
		20名	284回	1,196名						

3. 事業の課題

課題	施設が老朽化しているため、今後、維持管理費用の増加が見込まれる。新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少している。今後、どのように利用者数を回復させていくかが課題となる。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	長寿あんしんグランドデザイン南エリアにおける介護予防拠点であると同時に、地域における交流拠点としての機能を有しており、今後も適切な維持管理を実施する。新型コロナウイルス等の感染状況を踏まえ、適切な管理運営を行っていく。

事業名		総合相談支援業務			事業コード	1082027	計画コード	6-2-1
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
所属名(部局・課)		保健福祉部		地域包括ケア課		担当名	包括支援担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	市民等
意図・目的	権利擁護事業の円滑な運用を図る。また、総合相談支援体制を構築することで、様々な課題を有する世帯の課題解決を図る。
活動概要	成年後見支援会議の運営及び市民後見人の養成を行う。また、様々な課題を抱えるケースの相談に応じ、必要な支援・サービスが提供できるよう他機関等との連携調整や継続的な相談支援を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 総合相談支援員の配置	人	1	1	1	1	1	1	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	15,982	16,674	18,033		19,293	不用額
	決算額		千円	15,837	16,422	17,613		420	
	財源内訳	一般財源		千円	14,934	14,793		15,235	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	903	1,629		2,378	
成果の説明	<p>成年後見支援会議を11回実施し、認知症や障害により成年後見人が必要な方の支援方針について協議した。 令和3年度に養成した市民後見人9名に対し、フォローアップ講座を実施した。 総合相談支援員を配置することで、ひきこもりを抱える世帯などに対して、分野にとらわれない相談支援を実施した。</p>								

3. 事業の課題

課題	市民後見人の養成を実施しているが、申込者が減少しているため、R5は広報紙等を活用して周知を図っていきたい。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	今後も、弁護士・司法書士・行政書士と連携しながら成年後見制度の活用及び周知を図っていく。 また、課題が多いケースについて、他機関等との連携調整や継続的な相談支援を行う。

事業名		介護認定審査業務			事業コード	8002501	計画コード	6-2-2
款	01	総務費		項	03	介護認定審査会費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	要介護状態高齢者
意図・目的	介護保険法に基づき、要支援・要介護認定及び審査を行う。
活動概要	市町村は被保険者から要支援・要介護認定の申請があった場合、認定調査を実施する。また主治医の意見書を求め、認定調査の結果及び、主治医意見書の記載から、介護認定審査会にて、要介護状態か否かまた介護状態であればどの程度かの審査判定を実施する。(審査委員は5人で構成される。)

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 要介護認定審査会実施回数	室	50	50	42	60	60	60	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	14,332	14,967	7,333	8,093	不用額
			決算額	千円	11,037	11,036	6,355		978
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	11,037	11,036	6,355		86.7%

成果の説明	次ページに記載
-------	---------

3. 事業の課題

課題	要介護認定適正化のため、認定審査会資料の確認や、ケア会議への提案、適正なサービスなどの情報提供をケアマネージャーや地域包括支援センターに伝えることが重要となっている。 申請者数の増加や新型コロナウイルス感染症の収束後の審査会の開催方法の検討を行っていく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	介護保険法に基づき、要支援・要介護認定を実施するとともに、ケアマネージャーや地域統括支援センターと連携を図り対応していく。 介護認定審査会の開催方法を見直していく。

第1号被保険者の状況

対象月	被保険者数	前期高齢者数	後期高齢者数	総人口	高齢化率
4月	15,171	7,568	7,603	83,667	17.93%
5月	15,186	7,539	7,647	83,801	17.94%
6月	15,206	7,514	7,692	83,793	17.97%
7月	15,221	7,485	7,736	83,924	17.96%
8月	15,225	7,451	7,774	83,993	17.97%
9月	15,232	7,414	7,818	83,978	18.03%
10月	15,252	7,381	7,871	84,007	18.07%
11月	15,247	7,362	7,885	84,008	18.07%
12月	15,235	7,324	7,911	83,962	18.09%
1月	15,240	7,285	7,955	83,962	18.10%
2月	15,258	7,247	8,011	83,997	18.12%
3月	15,261	7,216	8,045	83,599	18.22%
4月～3月伸び率	1.01	0.95	1.06	1.00	
1992年の状況	3,916	2,419	1,497	56,890	6.88%
事業計画の数値 (2022年度)	15,342	7,466	7,876	85,407	17.96%

要介護認定者の推移(1号被保険者)

対象月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	認定率
4月	99	99	516	437	311	236	121	1,819	11.99%
5月	106	96	519	438	316	238	123	1,836	12.09%
6月	107	98	508	440	318	239	128	1,838	12.09%
7月	110	98	505	443	324	254	130	1,864	12.25%
8月	120	95	508	443	316	255	133	1,870	12.28%
9月	123	93	504	443	315	259	139	1,876	12.32%
10月	121	96	517	452	318	266	146	1,916	12.56%
11月	114	92	517	457	313	272	141	1,906	12.50%
12月	108	92	515	449	316	277	146	1,903	12.49%
1月	106	92	512	441	311	275	143	1,880	12.34%
2月	107	96	501	445	314	281	145	1,889	12.38%
3月	109	98	502	456	314	286	148	1,913	12.54%
平均	111	95	510	445	316	262	137	1,876	12.32%
4月～3月 伸び率	1.10	0.99	0.97	1.04	1.01	1.21	1.22	1.05	
分布割合	5.91%	5.09%	27.21%	23.74%	16.82%	13.94%	7.30%	100.00%	

要介護認定者申請者数(※2号保険者含む)

対象月	申請件数総数		新規		更新		介護		変更		転入	
	総数	2号	新規	2号	更新	2号	介護	2号	変更	2号	転入	2号
4月	214	4	46	1	144	2	2	0	20	0	2	1
5月	249	5	67	2	155	3	1	0	17	0	9	0
6月	239	7	60	4	161	2	2	0	16	1	0	0
7月	217	4	51	0	147	4	2	0	15	0	2	0
8月	253	8	64	4	169	4	0	0	18	0	2	0
9月	254	9	53	2	163	6	9	0	26	1	3	0
10月	278	7	60	0	194	7	2	0	22	0	0	0
11月	232	4	52	2	149	2	3	0	25	0	3	0
12月	265	5	62	1	181	4	0	0	18	0	4	0
1月	235	8	64	3	152	5	7	0	10	0	2	0
2月	252	11	67	5	161	5	3	0	17	1	4	0
3月	214	8	68	4	115	3	7	0	20	1	4	0
合計	2,902	80	714	28	1,891	47	38	0	224	4	35	1
平均	242	7	60	2	158	4	3	0	19	0	3	0

※ 2号…総数のうち、第2号被保険者分

認定審査会開催回数

第一合議体・第二合議体	42回
-------------	-----

事業名		認定調査業務			事業コード	8003001	計画コード	6-2-3		
款	01	総務費		項	03	介護認定審査会費		目	02	認定調査費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課			担当名	介護保険担当		
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進							

1. 事業の概要

事業の対象	要介護状態高齢者
意図・目的	介護保険法に基づき適正に要介護認定を行う。
活動概要	要支援・要介護認定の新規・区分変更・更新について申請があった場合に、市町村の認定調査員等が被保険者宅等を訪問し、認定に必要な本人の心身の状況を調査する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 認定調査実施件数(市職員)	件	244	324	384	330	407	431	
	② 認定調査実施件数(委託)	件	791	914	1,441	2,275	2,411	2,556	
	③ 主治医意見書依頼件数	件	1,118	1,271	1,556	2,605	2,818	2,987	
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	19,358	17,035	17,021	28,515	不用額
			決算額	千円	10,235	9,870	14,475		2,546
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	10,235	9,870	14,475		85.0%

成果の説明	1 認定調査及び主治医の意見書依頼状況			
	認定調査	委託分	委託事業者数	調査依頼件数
			142	1,441
	保険者調査分		保険者調査件数	
			384	
	主治医の意見書依頼件数		1,556	

3. 事業の課題

課題	申請件数の増加に伴い、調査件数も増加しているため、調査先、調査員の確保の方法等を検討していく必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	調査件数の増加に伴う職員体制や業務効率の向上が急務であることを念頭に業務を進めていく。

事業名		介護保険趣旨普及業務			事業コード	8003501	計画コード	6-2-4
款	01	総務費	項	06	趣旨普及費	目	01	趣旨普及費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名		介護保険担当
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	市民及び介護保険被保険者
意図・目的	介護保険制度の周知。
活動概要	制度説明用パンフレット及び計画(長寿あんしんプラン)の作成及び配布を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 制度周知用パンフレット配布部数	部	3,000	3,000	1,000	3,000	1,000	1,000	
	② 和光市長寿あんしんプラン作成部数(ダイジェスト版含む)	部	2,000	0	0	0	2,000	0	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	2,176	644	176	1,881	不用額
			決算額	千円	1,177	363	176		0
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,177	363	176		100.0%
成果の説明	制度周知用のパンフレット「みんなのあんしん介護保険」を作成し、長寿あんしん課窓口、地域包括支援センター等で配布し、制度周知を図った。								

3. 事業の課題

課題	法制度の改正に伴い、適宜パンフレットの内容等の精査・改定を行う。
----	----------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	介護保険制度の理解を深めるとともに、和光市介護保険事業について、常に被保険者にその趣旨を普及させることが保険者として重要な取り組みであり、今後も継続して普及業務を行っていく。

事業名		介護予防・生活支援サービス事業				事業コード	8011401	計画コード	6-2-5		
款	05	地域支援事業費		項	01	介護予防・日常生活支援総合事業費		目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	
所属名(部局・課)		保健福祉部			長寿あんしん課			担当名	介護保険・地域支援事業担当		
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進								

1. 事業の概要

事業の対象	要介護状態等となる恐れの高い虚弱な状態にあると認められる65歳以上の者
意図・目的	要支援状態からの改善及び要支援・要介護状態になることを未然に防ぎ、地域における自立した生活の継続を支援する。
活動概要	①日常生活圏域ニーズ調査等実施により対象者把握を行う。②地域包括支援センター職員等による対象者のアセスメントを行い、生活機能の維持向上を図る。③通所型介護予防事業・訪問型介護予防事業を実施する。④予防事業評価事業を実施する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	114,407	121,837	127,924	128,944	不用額
			決算額	千円	104,664	116,330	119,589		8,335
	財源内訳	一般財源		千円	24,073	15,789	15,009		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	80,591	100,541	104,580		93.5%

成果の説明	次ページに記載
-------	---------

3. 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症への懸念から、高齢者の参加意欲が低下している ・A型事業の事業所数が少ない
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた検討を行うと共に、感染症対策に留意しつつ、事業対象者が適切にサービスにつながるよう支援する

①通所型サービス事業

通所型A	市内通所介護事業者
	9事業者 503件

通所型C	事業名	開催場所	実施回数	延参加者数
	あくていびていあつぷ2次	向山地域センター	20	130
	北あくていびていあつぷ	新倉北地域センター	16	84
	健康運動ふれっしゅらいふ(1期)	まちかど健康広場	16	102
	健康運動ふれっしゅらいふ(2期)	まちかど健康広場	16	130
	健康運動ふれっしゅらいふ(3期)	まちかど健康広場	16	123
	元気回復	まちかど健康広場	46	449
	ふれっしゅらいふパワーアップコース(1期)	まちかどビテクス和光	17	86
	ふれっしゅらいふパワーアップコース(2期)	まちかどビテクス和光	17	89
	ふれっしゅらいふパワーアップコース(3期)	まちかどビテクス和光	17	112
	ふれっしゅらいふパワーアップコース(4期)	まちかどビテクス和光	16	139
	ヘルシーフットプログラム	まちかど元気あつぷ	19	101
	ふれっしゅらいふ元気アップコース	まちかど元気あつぷ	17	110
	ふれっしゅらいふウォークアップコース	まちかど元気あつぷ	40	239
	リーシェすばいだー	リーシェガーデン和光	48	409
	ふれっしゅらいふ丸山台	まちかど健康空間	49	311
	ゆめあいトレーニング	ゆめあい和光	47	272
	歩楽里トレーニング	新倉高齢者福祉センター	49	263
	エンジョイックッキング(減量編)	ゆめあい和光	7	35
	まちかど健康広場	まちかど健康広場	381	4,612
	まちかど健康空間	まちかど健康空間	243	2,562
	まちかどビテクス和光	まちかどビテクス和光	312	1,952
まちかど元気あつぷ	まちかど元気あつぷ	161	2,235	
22事業			1,570	14,545

②訪問型サービス

訪問型A	市内訪問介護事業者
	10事業者 270件

訪問型C	事業名	利用者数	延訪問件数
	栄養マネジメント	34	224
	介護予防ヘルプサービス	119	449

③介護予防支援事業

事業名	利用者実数	延利用件数
介護予防ケアマネジメント	243	1,257

④生活支援サービス

事業名	利用者実数	延利用件数
栄養改善・食の自立サービス	22	491
地域送迎サービス	514	1,738

事業名	一般介護予防事業			事業コード	8011411	計画コード	6-2-6	
款	05	地域支援事業費	項	01	介護予防・日常生活支援総合事業費	目	02	一般介護予防事業費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課			担当名	地域支援事業担当	
施策	6-2	きめ細かな介護予防の推進						

1. 事業の概要

事業の対象	一般介護予防事業対象者(介護保険第1号被保険者)
意図・目的	介護予防・日常生活支援事業サービス事業対象者が改善した場合の通いの場となるとともに、一般介護予防事業対象者が現在の状態を維持し健康増進の状態を図る。
活動概要	①介護予防普及啓発事業を実施する。 ②地域介護予防活動支援を実施する。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
②									
③									
④									
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	31,845	31,265	32,158	47,232	不用額
			決算額	千円	29,648	30,492	31,347		811
	財源内訳	一般財源		千円	6,819	6,865	6,767		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	22,829	23,627	24,580		97.5%

成果の説明	①一般介護予防事業					
	事業名	通所型介護予防事業	開催場所	実施回数	延参加者数	
		3B体操	本町小学校	51	453	
		うえるかむ事業		本町小学校	34	314
				南公民館	35	311
				わごうの丘	24	160
				和光ホーム	24	123
				サポートセンター広沢	36	412
				桜の里	24	315
				リーシェガーデン和光	48	399
				ひかりのさと	21	91
				ミアヘルサオアシス和光	35	120
			翔裕館ひまわり	72	1,008	
		坂下いきいき教室	坂下公民館	48	898	
		いつまでも元気塾	白子コミュニティセンター	47	771	
		あくていびていあつぷ1次	新倉高齢者福祉センター	15	126	
		ヘルス喫茶サロン	本町小学校	19	196	
まちかど健康相談室	西大和団地内	228	1,163			
まちかど健康相談室(講座)	西大和団地内	312	2,039			
足裏測定会	まちかど元気あつぷ	2	48			
合計	9事業	1,075	8,947			

3. 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として活動を自粛していた高齢者のフレイルの進行が見られる。 ・人数制限等により人数や参加人数が少なくなり、参加意欲が低下している高齢者がいる。 ・将来の要介護者増加に至る流れを緩やかにするために元気高齢者を増やす取り組みが必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に留意しつつ、積極的な広報活動により参加者の増加と定着を図る。状況に応じて人数制限等の規制を緩和し事業を継続する。 ・新介護予防拠点において高齢者の社会参加につながる一般介護予防活動を開始する。

事業名	委託センター運営			事業コード	8004302	計画コード	6-2-7	
款	05	地域支援事業費	項	02	包括的支援事業・任意事業費	目	01	委託センター事業費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	長寿支援・地域支援事業担当		
施策	6-2	きめ細かな介護予防の推進						

1. 事業の概要

事業の対象	被保険者及び家族・親族等
意図・目的	高齢者を含む地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で自立して生活できるような体制を整える。
活動概要	<p>①介護予防事業と予防給付が効果的・効率的に提供されるよう適切なマネジメント・調整をする。</p> <p>②高齢者やその家族等の相談を総合的に受け、訪問等により実態を把握し、必要なサービスに繋げる。また、様々な権利擁護に必要な援助を行う。</p> <p>③地域でのケアを充実させ、医療と介護の連携、在宅と施設の連携、支援困難事例への対応等、包括的・継続的なケアマネジメントを実施する。</p>

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	総合相談件数	件	6,225	6,244	7,248	6,733	7,683	8,144	
②	要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
③									
④									
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	144,084	145,105	144,795	144,820	不用額
			決算額	千円	134,552	138,460	141,486		3,309
	財源内訳	一般財源	千円	0	49,385	52,484			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	134,552	89,075	89,002			97.7%

1 地域包括支援センターにおける介護予防サービス支援計画の状況等

①介護予防ケアマネジメント(予防給付)

(単位 件・人)

地域包括支援センター	プラン作成件数	プラン作成実人数(A)	改善者(B)	悪化者(C)	維持者(D)	死亡・転出等
南	51	31	8	6	16	1
北	58	35	7	13	14	1
北第2	49	33	6	11	14	2
中央	71	49	17	10	22	0
中央第2	47	31	4	12	13	2
合計	276	179	42	52	79	6
南			25.8%	19.4%	51.6%	3.2%
北			20.0%	37.1%	40.0%	2.9%
北第2			18.2%	33.3%	42.4%	6.1%
中央			34.7%	20.4%	44.9%	0.0%
中央第2			12.9%	38.7%	41.9%	6.5%
平均			23.5%	29.1%	44.1%	3.4%

※1)「改善」「悪化」「維持」は予防サービス導入前からプラン終了時点の状態を示す。

※2)改善者:要支援1・2から自立(非該当)となった人、要支援2から1へ移行した人

※3)悪化者:要支援1から要支援2、または要支援1・2から要介護状態へ移行した人

【続きあり】

3. 事業の課題

課題	・新型コロナウイルス感染症対策のための自粛生活の長期化や後期高齢者の増加の影響により、認定率が上昇しており、介護予防ケアマネジメントが増加している。あわせて同様の理由から、改善率が低く算出されやすい。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	地域包括ケアの実現に向けた施策が求められるため、今後も継続して包括的なケアマネジメントの徹底を図る。

※4) 維持者: 年度末時点において要支援1・2から要介護度の変化がなかった人
 ※5) 下段は、プラン作成実人数に占める改善者数、悪化者数及び維持者数の割合(少数点以下第二位を四捨五入)
 ※6) 改善率=(B/A) %、悪化率=(C/A) %、維持率=(D/A) %

②介護予防ケアマネジメント(総合事業対象者)

(単位 人)

地域包括支援センター	プラン作成件数	プラン作成実人数(A)	改善者(B)	悪化者(C)	維持者(D)	死亡・転出等
南	69	40	17	16	7	0
北	25	17	10	4	3	0
北第2	43	32	16	8	8	0
中央	36	29	18	8	3	0
中央第2	9	6	3	1	2	0
合計	182	124	64	37	23	—
南			42.5%	40.0%	17.5%	0.0%
北			58.8%	23.5%	17.6%	0.0%
北第2			50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
中央			62.1%	27.6%	10.3%	0.0%
中央第2			50.0%	16.7%	33.3%	0.0%
平均			51.6%	29.8%	18.5%	0.0%

※1) 「改善」・「悪化」・「維持」は総合事業参加前からプラン終了時点の状態を示す。
 ※2) 改善者: 基本チェックリストの合計ポイントが減少した人
 ※3) 悪化者: 基本チェックリストの合計ポイントが増加した人
 ※4) 維持者: 基本チェックリストの合計ポイントに増減がなかった人
 ※5) 下段は、プラン作成実人数に占める改善者数、悪化者数及び維持者数の割合(少数点以下第二位を四捨五入)
 ※6) 改善率=(B/A) %、悪化率=(C/A) %、維持率=(D/A) %

事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			事業コード	8011481	計画コード	6-2-8	
款	05	地域支援事業費	項	02	包括的支援事業・任意事業費	目	03	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課			担当名	地域支援事業担当	
施策	6-2	きめ細かな介護予防の推進						

1. 事業の概要

事業の対象	介護認定者、ヘルパー
意図・目的	高齢者が住み慣れた地域における生活を継続するため。
活動概要	包括的ケアプラン(困難支援・住環境支援等)の作成やヘルパー対象講習会を実施し、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費	予算額	千円	400	400	220	130	不用額
		決算額	千円	30	70	60		160
	財源内訳	一般財源	千円	7	25	22		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	23	45	38		27.3%

成果の説明	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパーから全事業者へ受講者層を広げ、広く介護予防(自立支援)、地域包括ケアについて学ぶ機会を提供している。 例年依頼している運動・栄養講師に包括センター長による自立支援に関する講義及び県の虐待研修講師も担う川崎氏による施設虐待に関する研修を加え、講義修了後は関係者へYouTube限定配信によるオンデマンド受講も促した。 包括的・継続的ケアマネジメントに関する委託が必要なケースは発生しなかった。 		
		令和3年度	令和4年度
	れべるあっぷ介護予防講習会	2日間/計 延57名	2日間/計 延56名
	包括的・継続的ケアマネジメント委託料	1件	0件

3. 事業の課題

課題	介護予防講習会の対象者を拡大することで、介護サービス事業者全体に地域包括ケアや自立支援、その理念に基づくケアの在り方についての規範的統合がはかられた。毎年新しい職員が入職しているため、くり返し実施する必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	介護保険制度は要介護者になっても尊厳を保持し、その有する能力に応じて自立した日常生活を行えるよう包括的に支援を行うために創設された制度である。そのため地域包括ケアや自立支援の考え方を継承していくために毎年繰り返し実施していく。

事業名		認知症初期集中支援事業			事業コード	8011482	計画コード	6-2-9
款	05	地域支援事業費		項	02	包括的支援事業・任意事業費		
目		04			認知症初期集中支援事業費			
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-2		きめ細かな介護予防の推進				

1. 事業の概要

事業の対象	40歳以上の在宅生活者で、認知症が疑われる人、又は認知症で、医療サービス及び介護サービスを受けていないか中断している人で、認知症疾患の診断を受けていない人。
意図・目的	認知症高齢者がどのような状態になっても、本人の意思が尊重され、住み慣れた地域の中で暮らし続けることができるようなケア環境を構築するため、認知症初期集中支援チームを編成し、集中的なアドバイスやサービスの提供により、認知症の悪化遅延とQOLを維持している。
活動概要	認知症初期集中支援チームを編成し、複数の専門職が認知症の人(認知症が疑われる人)及びその家族を訪問してアセスメントを行い、コミュニティーケア会議を通じた医療・介護サービス等、認知症初期の支援を包括的・集中的に提供する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 認知症初期集中支援チーム訪問延件数	件数	3	3	22	10	25	25	
	② 認知症初期集中支援チーム員会議検討数	人	3	1	4	10	10	10	
	③ 認知症初期集中支援チーム員会議実施回数	回	1	1	2	3	3	3	
	④ 認知症初期集中支援チーム員訪問実施者実人数	人	3	1	5	10	10	10	
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	582	342	342	186	不用額
			決算額	千円	41	41	187		155
	財源内訳	一般財源		千円	10	15	69		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	31	26	118		54.7%

成果の説明	<p>複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームが、認知症が疑われる人や認知症の人(以下訪問支援対象者)及びその家族に訪問(アウトリーチ)しアセスメントを実施して、本人、家族に対しての支援を包括的、集中的に行うことで、訪問支援対象者が認知症の専門医を受診し、適切な医療につながった。</p> <p>令和3年度はコロナ感染症による影響で活動が実施できなかったが、令和4年度は感染に留意しつつ、活動の再開を図った。再開にあたり、認知症初期集中支援チーム検討会議も実施し、チーム活動の在り方についてのチーム員同士の意見交換も実施した。検討会は今後も年1回の頻度で継続して実施していく予定。</p>						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症初期集中業務委託件数</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>認知症初期集中支援チーム員会議</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>		内容		認知症初期集中業務委託件数	22件	認知症初期集中支援チーム員会議
内容							
認知症初期集中業務委託件数	22件						
認知症初期集中支援チーム員会議	2回						

3. 事業の課題

課題	長年チームで活躍していたチーム員の離職・移動により、チーム員全員の対応スキルの向上が必要。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	市主催の対応スキル向上のための講習等を実施し、チーム員活動の質の向上を図る。

事業名		地域ケア会議事業			事業コード	8011483	計画コード	6-2-10
款	05	地域支援事業費		項	02	包括的支援事業・任意事業費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	高齢者全般
意図・目的	ケアプランを検討することにより自立支援型ケアマネジメントの充実を図るとともに、地域課題の抽出も行き、地域包括ケアの柱となるようにする。
活動概要	ケアプランの検討。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① コミュニティケア会議(回)	回	9	26	37	36	39	39
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費		千円	825	702	742	815	不用額
	決算額		千円	185	499	717		25
	財源内訳	一般財源	千円	43	178	266		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	142	321	451		96.6%
成果の説明	<p>コミュニティケア会議は自立支援に資するケース調整と、参加者に対するOJTを基本とした、市民のためのケアプラン応援の場であり、この会議を実施することで介護認定率の適正化を図り、重症化予防ができています。また、会議では個別のケース調整にとどまらず、地域課題の発掘の場となっている。</p> <p>令和4年度は中央会議のうち一回を、コミュニティケア会議のあり方を市内事業者と保険者で検討する地域ケア推進会議も兼ねて実施した。</p>							
	令和4年度実績 (単位:回)							
	中央会議	4						
	評価会議	33						

3. 事業の課題

課題	後期高齢者の急増に伴いケアプラン数が増加していることから、コミュニティケア会議で従来通り総合事業対象者や要支援認定者等の全てのケアプランについて検討・評価等による支援を行うことが困難となっている。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	令和5年度以降、コミュニティケア会議にかけきれなかったケアプランについて、検討・評価等による支援を行う体制を整えて行く。

事業名		生活支援体制整備事業			事業コード	8011484	計画コード	6-2-11	
款	05	地域支援事業費		項	02	包括的支援事業・任意事業費			
目		06			生活支援体制整備事業費				
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名			地域支援事業担当
施策		6-2		きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	高齢者全般
意図・目的	高齢者の生活支援等サービスの体制整備を推進している。
活動概要	地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能(主に資源開発はネットワーク構築の機能)を果たす者を「生活支援コーディネーター」として配置している。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 地域生活支援コーディネーター配置数	人	3	3	3	3	3	3	
	② 地区社会福祉協議会の設立	箇所	6	6	8	8	8	9	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	9,600	11,788	11,740	20,141	不用額
			決算額	千円	9,200	11,388	11,740		0
	財源内訳	一般財源		千円	2,116	4,062	4,355		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	7,084	7,326	7,385		100.0%
成果の説明	<p>本事業は、介護保険事業計画に基づく地域支援事業の生活支援体制整備事業として実施するもので、生活支援コーディネーターを日常生活圏域(3圏域)に配置し、各種の生活支援サービス実施主体との連携により、地域資源開発、地域におけるネットワーク構築及びサービスニーズと提供主体のマッチングなどのコーディネートを行う。</p> <p>なお、生活支援コーディネーターは、第三次和光市地域福祉計画の施策として配置する「地域福祉コーディネーター」を兼ね、同計画において定められた業務も行う。</p> <p>目標は配置5人へ増加としていたが、各圏域1名ずつでの運営で業務が適切に行えているため、変更なしとした。</p> <p>R3年度までに6か所の地区社会福祉協議会が立ち上がり、R4に2箇所が設立。</p> <p>R4年度は地区社会福祉協議会単位で、組織メンバーによる活動目標に対する質的評価を試みた。</p>								

3. 事業の課題

課題	定性的評価は実施したが、今後は地域への寄与について定量的評価も行う必要がある。役割のある形で高齢者の社会参加を促す仕組みや地域の互助力強化を図る必要がある。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	生活支援コーディネーターや地区社会福祉協議会のメンバーと活動の評価や、より地域から求められる活動となるための工夫について検討しながら事業運営していく。 役割のある形で高齢者の社会参加を促す就労的活動支援コーディネーターや地域互助活動である高齢者版ファミリーサポート事業を実施していく。

事業名		健康度調査			事業コード	8011501	計画コード	6-2-12
款	07	保健福祉事業費		項	01	保健福祉事業費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	65歳以上の高齢者(介護保険第1号被保険者)
意図・目的	要支援・要介護状態へ移行する高齢者の増加を抑制する。
活動概要	郵送方式による介護予防スクリーニング調査を実施する。(3年に1回のペースで第1号被保険者全員に送付)回答者には結果アドバイス票を送付し、介護予防・健康寿命の延伸等について意識向上を図る。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① スクリーニング実施対象者	人	4,999	4,998	5,000	5,000	5,000	5,000	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	5,192	3,454	6,042	6,710	不用額
			決算額	千円	5,192	3,454	5,995		47
	財源内訳	一般財源		千円	5,192	3,454	5,995		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		99.2%
成果の説明	介護予防の取組みとして、スクリーニング調査により抽出されたハイリスク者に対し、地域包括支援センターによるフォローを行っている。また調査を行うこと自体が、被保険者への健康や介護予防に対する普及啓発につながっている。								

3. 事業の課題

課題	コロナ禍が収束に向かう中で、未回収者への対応について再検討の上、調整を行う必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	早期に課題を発見し、高齢者の介護予防に努める。

事業名		健康増進・介護者リフレッシュ				事業コード	8011701	計画コード	6-2-13	
款	07	保健福祉事業費		項	01	保健福祉事業費		目	01	保健福祉事業費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課			担当名	介護保険担当		
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進							

1. 事業の概要

事業の対象	介護保険第1号被保険者及び要介護認定者の介護にあたる家族介護者
意図・目的	被保険者の閉じこもり予防及び家族介護者のリフレッシュを目的とする。(保険料還元事業)
活動概要	1人当たり年間12枚の補助券を交付し、保険料を還元する。なお、補助券は市の指定する健康増進浴場施設にて利用することができる。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 補助券利用件数	件	3,539	5,300	7,723	7,777	8,000	8,000	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,812	1,939	2,030	2,130	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	2,728	2,678	4,436	4,436	不用額
			決算額	千円	1,818	2,661	4,030		406
	財源内訳	一般財源		千円	1,818	2,661	4,030		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		90.8%

成果の説明	・利用状況	
	申請人数	利用枚数
	1,812	7,723
	・対象施設数 4施設	

3. 事業の課題

課題	本制度を知らない市民に対してどのように周知していくかが今後の課題である。
----	--------------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	第一号被保険者の閉じこもり予防及び家族介護者のリフレッシュを目的とし、支援をする。

事業名		地域介護予防			事業コード	8011801	計画コード	6-2-14
款	07	保健福祉事業費		項	01	保健福祉事業費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	市内高齢者
意図・目的	高齢者の閉じこもり予防を目的とする。
活動概要	小学校の福祉交流室や公共施設等における体操や創作活動等の実施に必要な消耗品や食糧品の購入。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度																
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値																
活動実績	① 延参加者数	人	460	738	963	799	836	1,020																
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152																
	③																							
	④																							
	⑤																							
費用	事業費		千円	278	280	261		233	不用額															
	決算額		千円	142	103	207		54																
	財源内訳	一般財源		千円	142	103		207	執行率															
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	79.3%															
成果の説明	<p>閉じこもり傾向にある高齢者に対し、以下の事業(予算項目は別、本町小を利用した事業)を通して、地域的な取り組みとして地域住民とのかかわりを持つと同時に介護予防の効果的な推進に寄与している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業者名</th> <th>令和4年度実施回数</th> <th>令和4年度延べ参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘルス喫茶サロン</td> <td>ぼけっとステーション</td> <td>19</td> <td>196</td> </tr> <tr> <td>うえるかむ事業</td> <td>クローバー整骨院</td> <td>34</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>3B体操</td> <td>指導士 玉城育子</td> <td>45</td> <td>453</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和3年度においては、人数制限を設けて実施したこと、まん延防止等措置期間中(R3.8.25~R3.8.9.30)事業を中止したことから参加者数が減少したが、令和4年度は制限緩和したため増加した。</p>								事業名	事業者名	令和4年度実施回数	令和4年度延べ参加者	ヘルス喫茶サロン	ぼけっとステーション	19	196	うえるかむ事業	クローバー整骨院	34	314	3B体操	指導士 玉城育子	45	453
事業名	事業者名	令和4年度実施回数	令和4年度延べ参加者																					
ヘルス喫茶サロン	ぼけっとステーション	19	196																					
うえるかむ事業	クローバー整骨院	34	314																					
3B体操	指導士 玉城育子	45	453																					

3. 事業の課題

課題	感染症予防に留意しつつ、閉じこもり傾向のある高齢者が通うことができる工夫が必要である。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	感染症対策を徹底し、事業の広報等による参加者の増加・定着を目指す。

事業名		介護予防強化サービス事業			事業コード	8011802	計画コード	6-2-15
款	07	保健福祉事業費		項	01	保健福祉事業費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-2	きめ細かな介護予防の推進					

1. 事業の概要

事業の対象	居宅要支援被保険者及び総合事業対象者
意図・目的	和光市介護予防・日常生活支援総合事業サービス実施要綱による訪問型サービス・通所型サービスと合わせて機能訓練を実施し自立支援サービスの向上を図る。
活動概要	市長が定めた研修を終了した者や専門職が、訪問型サービス・通所型サービスにおいて、運動機能の向上及び口腔機能の向上、栄養改善、認知機能の改善及びその他生活機能の向上及び低下予防を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 総合事業件数	世帯	675	732	656	791	802	850	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	5,627	3,757	3,639	3,443	不用額	
	決算額		千円	4,899	3,455	3,044		595	
	財源内訳	一般財源		千円	4,899	3,455		3,044	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	

成果の説明	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>件数</td> <td>事業費</td> </tr> <tr> <td>通所</td> <td>436件</td> <td>2,647,200円</td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>220件</td> <td>220,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>656件</td> <td>2,867,200円</td> </tr> </table>				件数	事業費	通所	436件	2,647,200円	訪問	220件	220,000円	合計	656件	2,867,200円
		件数	事業費												
	通所	436件	2,647,200円												
	訪問	220件	220,000円												
合計	656件	2,867,200円													

3. 事業の課題

課題	通所・訪問ともに事業所数が少ない。
----	-------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	事業所数増加に向けて単価や加算(強化サービス費)について検討する。

事業名		在宅高齢者住宅支援			事業コード	1091501	計画コード	6-3-1
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉総務費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	住宅に困窮する高齢者等
意図・目的	高齢者の住みやすい住環境の整備。
活動概要	高齢者支援住宅家賃助成を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 高齢者支援住宅家賃補助世帯(年間延べ世帯数)	延べ世帯	160	143	120	200	210	210	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	予算額		千円	12,540	10,431	9,499		14,094	不用額
	決算額		千円	11,868	9,941	8,592		907	
	財源内訳	一般財源		千円	11,868	9,941		8,592	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	90.5%

成果の説明	<p>●高齢者支援住宅家賃補助 市内に3年以上住所を有し、市が指定した高齢者支援住宅に入居している低所得者に対する家賃補助する。</p>		
	助成人数	延べ助成件数	助成総額
	12人	120件	8,592,091円

3. 事業の課題

課題	高齢者支援住宅は市が借り上げている住宅ではなく、対象者以外の方も入居できるため、対象者が入居希望した時に部屋に空きがなければ入居出来ない。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	費用の一部を助成することにより、高齢者の在宅での生活を支援することで在宅の限界点を高められていることから、本事業を継続させたい。

事業名		介護人材育成			事業コード	1091530	計画コード	6-3-2	
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉総務費	
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名			長寿支援担当・地域支援事業担当
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実						

1. 事業の概要

事業の対象	市内介護事業所等従事者、市民
意図・目的	市内介護保険事業所の人材確保、介護の質を向上
活動概要	関心ある市民に介護に関する入門的研修の受講とともに、介護従者として就労の機会を提供し、事業所の人材確保を目指す。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 介護に関する入門的研修	修了者数	5	11	17	15	18	18
	②							
	③							
	④							
	⑤							
費用	事業費		千円	900	900	900	900	不用額
	決算額		千円	347	648	675		225
	財源内訳	一般財源	千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	347	648	675		75.0%
成果の説明	<p>入門的研修は令和元年度から実施している。3日間で21時間の研修を実施し休日に受講する休日コースと平日に受講する平日コースの2コースを計画した。受講者に就職希望者はいなかった。</p>							

3. 事業の課題

課題	研修参加から就職に繋がっていない。
----	-------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	課題を念頭に、介護人材の育成、確保のために、就労的活動支援等との連携を検討していく。

事業名		介護保険指定事業者等管理システム			事業コード	1091540	計画コード	6-3-3
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	03	老人福祉総務費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	長寿支援・地域支援事業担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	市内介護保険事業所
意図・目的	県が行っていた業務を市で行うこととなったため。
活動概要	変更届出の受理、新規事業所の指定、事業所の更新指定等の入力業務

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 介護サービス事業所入力件数	数	88	99	103	150	150	150	
	② 総合事業事業所入力件数	数	14	11	20	25	20	20	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	274	274	298	287	不用額
			決算額	千円	273	273	298		0
	財源内訳	一般財源		千円	273	273	298		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		100.0%

成果の説明	事業者からの変更等届出に係る介護保険指定事業者等管理システムへの入力を迅速、適切に行った。
-------	---

3. 事業の課題

課題	権限移譲により、通常事務に対して当該事務の執行により業務量が増え、業務負担が増大している。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	権限移譲を受けた事務として、継続していく。

事業名		在宅介護支援			事業コード	1093010	計画コード	6-3-4
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	老人福祉措置費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	主に65歳以上の要介護認定者等
意図・目的	高齢者のQOL(生活の質)を向上させる。
活動概要	①要介護認定者が在宅で自立した生活が送れるよう住宅改修費の一部を補助する。②低所得介護保険利用者の負担軽減を図る。③要介護認定に係る訪問調査時における生活背景や要介護度だけでは補うことができない生活支援度の調査を実施する。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	高齢者居宅改善整備支給件数	件	61	53	41	69	72	76	
②	利用料助成金支給件数	件	5,345	5,085	5,208	5,887	6,181	6,552	
③	グループホーム等家賃助成金支給延人数	人	1,116	1,047	1,035	1,504	1,579	1,674	
④	要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
⑤									
費用	事業費		千円	99,476	91,347	87,241		92,931	不用額
			千円	88,193	80,036	72,134		15,107	
	財源内訳	一般財源		千円	88,193	80,036		72,134	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	

成果の説明	(1)高齢者居宅改善整備(介護保険居宅介護等住宅改修補助)							
	助成者数		助成件数		助成額		1件あたりの平均助成額	
	40		41		4,351,775円		106,141円	
	(2)介護保険利用者負担金(介護保険利用料助成)							
	所得階層	助成率	認定者数(人)	実助成者数(人)	延助成件数(件)	助成額(円)		
	第1段階	55%	67	318	3,210	21,817,141		
	第2段階	40%	30	96	927	5,834,382		
	第3段階	35%	28	99	942	5,463,206		
	第4段階	15%	8	16	129	277,203		
	合計		133	529	5,208	33,391,932		
(3)グループホーム等家賃助成								
助成者数		助成延人数						
111		1,035						

3. 事業の課題

課題	事業者や対象者への制度周知が必要である。
----	----------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	制度周知を行うと共に、高齢者の自立の限界点を高めるため、施策を推進する。

事業名		在宅生活支援			事業コード	1093018	計画コード	6-3-5			
款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	04	老人福祉措置費	
所属名(部局・課)		保健福祉部			長寿あんしん課			担当名	長寿支援・介護保険担当		
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実								

1. 事業の概要

事業の対象	主に65歳以上の高齢者
意図・目的	高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で安心した生活を送れるようにする。
活動概要	住み慣れた自宅や地域で、自立した生活を続けられるよう支援する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度		
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値		
活動実績	① 生活支援度調査(委託分)	回	77	194	306	400	400	400		
	② 寝たきり理容出張費助成	件	53	63	62	150	150	150		
	③									
	④									
	⑤									
費用	事業費		千円	1,031	762	990		1,220	不用額	
	決算額		千円	506	642	760			230	
	財源内訳	一般財源		千円	506	642	760			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0			76.8%

成果の説明	高齢者が自宅で自立した生活を送ることができるよう、生活の支援をするための諸政策を実施し、要介護認定を受けても在宅で生活できるようにする。			
	(1)寝たきり理容出張助成			
	助成内容	交付者数	交付枚数	助成枚数
	年間1人1~6枚の理容券を交付1枚 2,000円	38名	177枚	62枚
	(2)老人用杖支給 支給数 52本			
(3)高齢者入浴助成 実績なし				
(4)生活支援度調査				
	地域包括支援センター	委託分	市実施分	
延べ件数	799	306	384	

3. 事業の課題

課題	事業対象者の環境、身体状況等で要否が決まるものであり、事業の見込みが立たずらい。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	現行の内容で事業を継続する。

事業名		地域密着型サービス拠点等整備				事業コード	1093020	計画コード	6-3-6		
款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	04	老人福祉措置費	
所属名(部局・課)		保健福祉部			長寿あんしん課			担当名	介護保険担当		
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実								

1. 事業の概要

事業の対象	介護保険法に基づく地域密着型サービス拠点整備事業者
意図・目的	地域密着型施設運営事業者の安定的な経営のため。
活動概要	第7期介護保険事業計画(長寿あんしんプラン)に基づく地域密着型サービス拠点等の整備について、県の地域密着型サービス等整備助成事業等補助金等を活用し推進する。優良な事業者を誘致し、長寿あんしんプランに位置付けられた基盤整備を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 地域密着型サービス拠点整備数	箇所	0	0	1	1	0	2	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	14,000	0	9,010	81	不用額
			決算額	千円	0	0	8,163		847
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	8,163		90.6%

成果の説明	地域密着型サービス拠点整備数	
	<平成29年度> 中央エリア 定期巡回随時対応型訪問介護看護	
	<令和元年度> 南エリア 介護予防拠点	
	<令和2年度> 実績なし	
	<令和3年度> 北エリア 介護予防拠点整備事業者選考 北エリア・全エリア 認知症対応型共同生活介護整備事業者募集 2回実施	
<令和4年度> 北エリア 介護予防拠点整備 全エリア 認知症対応型共同生活介護整備事業者募集 2回実施 北エリア 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 実施		

3. 事業の課題

課題	認知症対応型共同生活介護及び地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・定期巡回・随時対応型訪問介護看護については公募を実施しているものの、応募に結びつかない現状がある。令和5年度については、応募につながりやすくなるよう公募のあり方を検討し、実施する。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	令和5年度については第8期長寿あんしんプランを原則とし、課題に沿って介護保険事業運営協議会でプランの見直しを行いながら整備を実施。 令和5年度次期計画を策定予定のため、令和6年度以降は次期計画に沿って整備を行う。

事業名		老人ホーム入所措置			事業コード	1094001	計画コード	6-3-7
款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	04	老人福祉措置費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	長寿支援担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	措置を必要とする高齢者
意図・目的	必要最低限の生活の保障。
活動概要	措置者の入所の適否、措置費用の徴収、措置委託料支出、措置者の状況把握を行う。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 措置人員	人	1	1	2	1	1	1	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	109	109	3,532	2,752	不用額
			決算額	千円	106	99	2,668		864
	財源内訳	一般財源		千円	106	99	2,668		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	0		75.5%
成果の説明	<p>法定受託事務のため、今後も法の要件に定められた措置を適切に行っていく。 老人福祉法第11条第1項第1号該当者(1件)及び同法第11条第1項第2号該当者(1件)がいたため、法令に従い措置を行った。そのうち2号該当者が措置要件が外れた為、令和4年11月30日に措置を廃止した。</p>								

3. 事業の課題

課題	高齢者のおかれた環境により措置者対象者が急遽生じる場合がある。
----	---------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	法定受託事務のため、今後も法の要件に定められた措置を適切に行っていく。

事業名		福祉の里管理運営				事業コード	1102001	計画コード	6-3-8		
款	03	民生費		項	01	社会福祉費		目	07	老人福祉施設費	
所属名(部局・課)		保健福祉部			長寿あんしん課			担当名	長寿支援担当		
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実								

1. 事業の概要

事業の対象	福祉の里及び福祉の里利用者
意図・目的	在宅で介護が受けられない高齢者が、不便のない介護が受けられる快適な生活を送っているようにする。また、指定管理者制度の導入により、効率的な施設の運営が実現されている。
活動概要	指定管理者制度の導入により、効率的に施設を運営する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 特養利用率	%	91.3	90.0	93.5	95.0	95.0	95.0	
	② 老人保健施設利用率	%	86.5	89.2	91.1	92.0	92.0	95.0	
	③ デイケア利用率	%	71.2	77.2	92.8	80.2	90.0	90.0	
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	125	87	7,866	116	不用額
			決算額	千円	121	87	7,486		380
	財源内訳	一般財源		千円	121	87	87		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0	7,399		95.2%

成果の説明	施設の管理運営については、指定管理者制度により、効率的運営、利用者視点に立った運営を行っている。 電力価格高騰に係る指定管理支援金の支給を行った。
-------	--

3. 事業の課題

課題	高い利用率を維持することが、財政面での施設の健全な運営につながるため、より高い利用率での安定化が重要となる。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	指定管理者と連携を密にして運営を継続する。

事業名		介護保険運営協議会運営			事業コード	8004001	計画コード	6-3-9
款	01	総務費	項	04	運営協議会費	目	01	運営協議会費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	介護保険被保険者
意図・目的	介護保険事業の運営を適正に行う。
活動概要	市長の諮問に応じ、介護保険特別会計予算の当初及び補正予算や、介護保険施設の整備等について審議する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 開催回数	回	3	2	3	4	4	4	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		千円	366	366	366		244	不用額
	決算額		千円	151	98	134			232
	財源内訳	一般財源	千円	0	0	0			執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	151	98	134			36.6%
成果の説明	<p>和光市介護保険条例第15条に基づき設置する介護保険運営協議会は、介護保険事業運営に関する諮問機関として意思決定のプロセスにおいて重要な役割を果たしている。令和4年度においては、介護保険特別会計の予算について審議を行った。</p> <p>第1回 令和4年8月1日 第2回 令和4年11月4日 第3回 令和5年1月24日</p>								

3. 事業の課題

課題	本協議会において介護保険特別会計予算、長寿あんしんプラン(介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画)に基づいた施設の基盤整備等について審議し市長に答申を行う。今後も質の高い議論ができるように努めて、介護保険事業運営を適正に推進していく必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	介護保険事業の運営を適正に行う必要があるため、このまま継続する。

事業名		紙おむつ等支給			事業コード	8011101	計画コード	6-3-10
款	04	市町村特別給付費		項	01	市町村特別給付費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当・地域支援事業担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	要支援・要介護認定者
意図・目的	居宅介護高齢者に対する介護の限界点を高める。また、失禁リスク等を勘案したリハビリパンツの提供により、閉じこもりを予防する。
活動概要	指定業者より紙おむつや居宅介護用品を各家庭へ配送し、その費用の9割(一定以上の所得のある利用者は8割)を助成する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値
活動実績	① 紙おむつ利用者延人数	人	5,942	6,152	6,348	6,522	6,912	7,326
	② 居宅介護用品利用者延人数	人	2,159	2,345	2,376	2,486	2,635	2,793
	③ 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152
	④							
	⑤							
費用	事業費		千円	37,936	36,808	47,178	45,092	不用額
	決算額		千円	36,999	36,013	45,115		2,063
	財源内訳	一般財源	千円	36,999	36,013	45,115		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	0	0	0		95.6%

内容	実利用者数	延利用枚数	助成金額
紙おむつ等	925人	835,445枚	45,115,294円 (37,524,417円)

※人数・枚数は紙おむつのみの実績。()内は紙おむつのみの助成金額

紙おむつ等購入費用の一部を助成することにより、在宅高齢者の自立した生活を支援するものである。在宅介護サービスの利用者は今後も増加が見込まれ、また閉じこもりの防止など利用者の改善・予防的効果も見込まれる。

3. 事業の課題

課題	要介護認定者数増加に伴い、対象者の増加が見込まれる。
----	----------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	現状を継続する。

事業名		地域送迎			事業コード	8011201	計画コード	6-3-11
款	04	市町村特別給付費		項	01	市町村特別給付費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当・地域支援事業担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	原則要介護2以上の認定を受けている者
意図・目的	要支援・要介護高齢者が自宅から医療施設及び介護保険施設等へ通院通所する際、また自宅へ退院退所する際に送迎サービスを提供し、費用の一部を助成することにより、高齢者の在宅での生活を支援することを目的とする。
活動概要	原則要介護2以上の認定者を対象とし、病院及び介護保険施設への入院入所並びに通院通所等の際、指定業者による送迎サービスを提供し、その費用の9割(一定以上の所得のある利用者は8割)を助成する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 利用者延人数	人	811	1,030	963	1,092	1,157	1,226	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		千円	16,426	17,507	21,766		18,994	不用額
	決算額		千円	14,879	17,507	18,575		3,191	
	財源内訳	一般財源		千円	14,879	17,507		18,575	執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	0	0		0	

内容	実利用者数	延利用回数	助成金額
介護移送	215人	2,702回	18,575,070円

送迎費用の一部を補助することによって利用者の金銭的負担を軽減している。また、安全な通院時の送迎サービスを提供することによって利用者が在宅でも高度な医療を受けることができている。

3. 事業の課題

課題	要介護認定者数増加に伴い、今後も利用者の増加が見込まれる。
----	-------------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	現状を継続する。

事業名	食の自立・栄養改善			事業コード	8011301	計画コード	6-3-12
款	04	市町村特別給付費	項	01	市町村特別給付費	目	03 食の自立・栄養改善サービス費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険担当・地域支援事業担当	
施策	6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	要支援・要介護認定者
意図・目的	居宅要支援・要介護認定者に対し、その状況に応じて、栄養のバランスのとれた調理済みの食事の提供したり、食事の自立のための栄養改善指導を実施し、その費用の一部を助成することにより、高齢者の自立した生活を支援することを目的とする。
活動概要	指定業者より昼食・夕食の配食サービスを提供し(普通食の他、糖尿病食やミキサー食などそれぞれに対応したものを提供)、その費用の6割を助成する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 利用者延人数	人	493	467	325	495	524	555	
	② 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	8,925	6,574	6,766	5,892	不用額
			決算額	千円	8,268	6,574	6,018		748
	財源内訳	一般財源		千円	0	0	0		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	8,268	6,574	6,018		88.9%

成果の説明	市町村特別給付 食の自立・栄養改善サービス			
	内容	実利用者数	延利用食数	助成金額
	昼食・夕食配食	48人	11,387食	5,468,228円
<p>配食サービスを提供しその費用の一部を助成することにより、利用者の金銭的負担の軽減と在宅高齢者の自立した生活を支援するものである。独居の高齢者等、栄養の確保が本人だけでは困難なケースや定期巡回・随時対応型訪問介護看護と組み合わせての利用等、供給件数が増加している。</p>				

3. 事業の課題

課題	要介護認定者数増加に伴い、対象者の増加が見込まれる。
----	----------------------------

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	現状を継続する。

事業名		社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度事業費			事業コード	8011450	計画コード	6-3-13
款	06	利用者負担額軽減制度事業費	項	01	利用者負担額軽減制度事業費	目	01	利用者負担額軽減制度事業費
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名		介護保険担当
施策		6-3		高齢者の暮らしを支える仕組みの充実				

1. 事業の概要

事業の対象	収入や世帯の状況、利用者負担等を総合的に勘案し、生計を維持することが困難な者として市長が認めた者又は生活保護法による保護を受けている者
意図・目的	低所得者で生計が困難である者及び生活保護受給者について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割に鑑み、利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図る。
活動概要	介護保険法に基づく訪問介護等のサービスに係る利用者負担額並びに食費、居住費及び宿泊に係る利用者負担額の全部又は一部を減額する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 負担軽減制度利用人数	人	34	31	26	60	60	60	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	1,252	970	844	865	不用額
			決算額	千円	396	334	455		389
	財源内訳	一般財源		千円	98	83	114		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	298	251	341		53.9%

成果の説明	介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その社会的な役割に鑑み、利用者負担を軽減することにより、低所得者における介護保険サービスの利用促進が図られた。			
	軽減総件数	軽減額		
		軽減額計	法人負担軽減分	市負担軽減分
	179件	1,621,431円	1,166,403円	455,028円

3. 事業の課題

課題	対象者への制度周知の徹底及び、申請の促進を図るため、該当サービスを提供している社会福祉法人と密な連携を行う必要がある。
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用促進を図る制度であり、今後も継続していく。

事業名		総合相談支援事業・権利擁護事業			事業コード	8011461	計画コード	6-3-14
款	05	地域支援事業費		項	02	包括的支援事業・任意事業費		
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	要支援者のうち、配偶者若しくは四親等以内の親族がいない者又はこれらの親族がいても音信不通の状況等にある者で、市長が本人の保護のために成年後見制度の利用が必要であると認めた者
意図・目的	知的障害者又は認知高齢者が、その有する能力を活用し、自立した日常生活を営むことができる環境の整備に資する。
活動概要	(1) 市長による後見・保佐・補助開始の審判の申立てを行う。また、申立てに要する経費の全部又は一部を支払う。 (2) その他成年後見人等の業務に要する経費の助成等を行う。 (3) 地域包括支援センターと連携し、後見制度がスムーズに利用できるように助言等の支援を実施。

2. 事業の実績

活動実績	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
①	成年後見制度利用費用助成実人数	人	8	10	8	11	11	11	
②	福祉サービス利用援助事業利用に係る費用の助成	人	9	12	12	12	12	12	
③	後見人等報酬経費助成	人	32	39	44	39	44	44	
④									
⑤									
費用	事業費		予算額	千円	13,810	12,740	9,498	13,408	不用額
			決算額	千円	7,405	8,725	8,656		842
	財源内訳	一般財源		千円	1,703	3,112	3,211		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	5,628	5,613	5,445		91.1%

成果の説明	利用実人数	
	市長申立て経費負担	8
	後見人等報酬経費助成	44
	申立て費用等助成	-
	福祉サービス利用援助事業利用補助	1

福祉サービス利用助成事業利用に係る費用の助成については、対象者の認知機能が低下し後見制度を利用することとなったため、実績値が少ない。

3. 事業の課題

課題	成年後見制度の利用が必要な方が多くなっている。後見候補人となる専門職が足りなくなりつつあるため、市民後見人などの育成が必要。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	認知症高齢者が増加に伴い、権利擁護事業の必要性が高まっていると考えられるため、施策を推進する。

事業名	日常生活圏域ネットワーク			事業コード	8011491	計画コード	6-3-15	
款	05	地域支援事業費	項	02	包括的支援事業・任意事業費	目	08	任意事業費
所属名(部局・課)	保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	介護保険・地域支援事業担当		
施策	6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実						

1. 事業の概要

事業の対象	要介護状態又は要支援状態となるおそれがある者として市長が認めた者
意図・目的	高齢者の自立した生活の継続を支援する。
活動概要	指定事業者により紙おむつを提供し、その費用の一部を助成する。また、緊急通報システムを設置する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 紙おむつ利用者延べ人数	人	465	231	183	231	231	0	
	② 緊急通報システム設置件数	人	243	198	206	213	218	231	
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費	予算額	千円	17,272	16,833	17,658		17,395	不用額
		決算額	千円	14,202	15,943	15,788		1,870	
	財源内訳	一般財源	千円	3,267	5,687	5,857		執行率	
		特定財源(国県補助、利用者負担等)	千円	10,935	10,257	9,931			89.4%

成果の説明	紙オムツ等の支給				
	内容	延利用者数	延利用枚数		
	紙おむつ等支給(紙おむつのみ)	183人	20,502枚		
	緊急通報システム				
	緊急通報システム	令和3年度末設置件数	令和4年度中		
			設置数	撤去数	令和4年度末設置件数
	ペンダント式システム	39件	2件	6件	35件
	センサー式システム	10件	0件	1件	9件
	駆け付け式システム	92件	33件	15件	110件
	定期巡回式システム	24件	6件	9件	21件
	合計	165件	41件	31件	175件

3. 事業の課題

課題	・緊急通報システムはケアマネジャー等のアセスメントに基づき個別に設置の可否を検討しているため、設置基準が曖昧である。
----	--

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	・事業継続。緊急通報システムの設置基準を明確化するために検討していく。

事業名		在宅医療・介護連携推進事業			事業コード	8011492	計画コード	6-3-16
款	05	地域支援事業費		項	02	包括的支援事業・任意事業費		
目		07			在宅医療・介護連携推進事業費			
所属名(部局・課)		保健福祉部		長寿あんしん課		担当名	地域支援事業担当	
施策		6-3	高齢者の暮らしを支える仕組みの充実					

1. 事業の概要

事業の対象	被保険者
意図・目的	在宅医療と介護の連携により地域包括ケアシステムの構築を図る。
活動概要	和光市と一般社団法人朝霞地区医師会との協定に基づき運営する在宅医療・連携拠点(地域包括ケア支援室)を、平成30年度から市町村の地域支援事業として運営する。

2. 事業の実績

	指標名	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	
			実績値	実績値	実績値	目標値	目標値	目標値	
活動実績	① 要介護認定者数	人	1,780	1,848	1,957	1,939	2,030	2,152	
	②								
	③								
	④								
	⑤								
費用	事業費		予算額	千円	2,966	3,008	2,969	2,934	不用額
			決算額	千円	2,550	2,923	2,932		37
	財源内訳	一般財源		千円	587	1,043	1,088		執行率
		特定財源(国県補助、利用者負担等)		千円	1,963	1,881	1,844		98.8%
成果の説明	<p>・平成30年度から朝霞地区4市で協定し、在宅医療・介護連携拠点(地域包括ケア支援室)の業務を朝霞地区医師会に委託している。</p> <p>【令和4年度における地域包括ケア支援室の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護の連携における課題等を検討し解決を図る場である朝霞地区在宅医療介護連携推進会議の運営 ・ACP普及啓発(埼玉県の事業である講師人材バンク事業を活用し、和光市では医師を講師として市民向けに2回講座を実施) ・入・退院支援の手引きの普及・啓発(支援室のホームページ掲載) ・4市の地域ケア会議の出席と助言 ・朝霞地区訪問看護ステーションネットワークづくり(MCSの活用やコロナ禍の対応等についての検討) ・医療・介護関係者や市民からの相談の窓口 ・その他、支援室を中心に各種研修を企画運営(看取り研修、緩和ケア研修、コロナ対応等) <p>【令和4年度における市の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者を含む在宅緩和ケアの実践について学ぶ機会を提供すること、及び在宅緩和ケアにおける介護の果たす役割、医療介護の連携の重要性について伝えること、在宅緩和ケアの地域資源を周知することを目的に、TMGあさか医療センターの金井医師による市内介護事業者向けの講習会を実施した。 								

3. 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院支援ルール及びMCSの普及と運用推進 ・ACP事業の市民への普及啓発及び、R6年度の県補助による実施から交付金を用いての転換に向けた事業整理 ・支援室の相談業務の充実
----	---

4. 事業の総合評価

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	上記課題を引継ぎ、朝霞地区4市と協議しながら事業を継続していく。